



2026年2月期

(2025年3月1日～2025年8月31日)

第 2 四 半 期 決 算 説 明 資 料

わらべや日洋ホールディングス株式会社

東証プライム： 2918

■ 2026年2月期 第2四半期業績

■ 2026年2月期 業績予想

■ 中期戦略に基づく成長への取り組み

連結 業績サマリー

売上高・利益ともに過去最高

(単位: 百万円)	2025年2月期 上期実績	2026年2月期 上期予想	2026年2月期 上期実績	前年同期比		予想比増減
				増減額	増減率	
売上高	113,636	117,000	119,634	+5,998	+5.3%	+2,634
営業利益 営業利益率	4,256 3.7%	3,800 3.2%	5,289 4.4%	+1,033	+24.3%	+1,489
経常利益	4,613	3,700	5,237	+624	+13.5%	+1,537
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,807	2,700	4,000	+1,192	+42.5%	+1,300
EPS	160.77円	154.57円	229.53円	68.76円	-	74.96円
US\$ 為替レート	152.3円	150.0円	148.6円			

事業セグメント

- ・ 食品関連事業は、商品規格の見直しにより売上・利益共に伸長
- ・ 物流関連事業は、採算性の改善により利益増

(単位:億円)	売上高				営業利益			
	2025年2月期 上期実績	2026年2月期 上期実績	増減額		2025年2月期 上期実績	2026年2月期 上期実績	増減額	
			前同比	予想比			前同比	予想比
食品関連事業	1,012	1,075	+62	+31	40.7	49.5	+8.7	+13.9
食材関連事業	59	57	△2	△5	2.6	2.8	+0.2	△0.6
物流関連事業	63	63	△0	+0	3.8	5.4	+1.5	+1.7
調整額	—	—	—	—	△4.7	△4.9	△0.2	△2.5
合計	1,136	1,196	+59	+26	42.5	52.8	+10.3	+14.8

前期からの増減要因

- 食品関連事業

売上

商品規格の見直しにより、増収
- 利益

伊勢崎工場の初期赤字があったものの、商品規格の見直しや入間工場の収支改善などが寄与し、増益
- 食材関連事業

売上・利益

売上高は減少の一方、おにぎり具材などの取扱高増加により商品構成が良化し、減収増益
- 物流関連事業

売上・利益

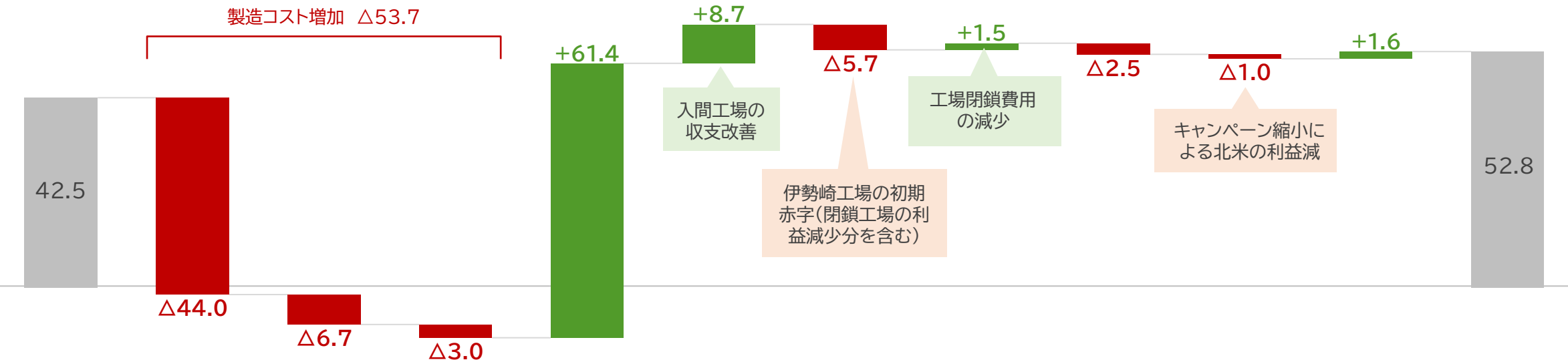
ネットスーパー向け宅配事業の取扱高の減少の一方、労働コストの上昇があったものの、共同配送事業の取扱高増加効果により、減収増益

連結 営業利益の増減分解－前年同期比

商品規格の見直しや売上増により、製造コストの増加を吸収

(単位:億円)

国内食品+9.7 海外△1.0 関連+1.6 連結+10.3



	25/2期 上期営業利益	原材料価格	人件費	水道光熱費 /物流費	商品規格の見直し /売上高(増収)	入間工場	伊勢崎工場	工場再編 費用	メンテナンス 費用 他	海外	グループ 関連事業等*	26/2期 上期営業利益
1Q	22.1	△23.0	△2.7	△2.0	+29.5	+5.3	△5.9	+0.8	△0.7	△2.0	+1.0	22.4
2Q	20.3	△21.0	△4.0	△1.0	+31.9	+3.4	+0.2	+0.7	△1.8	+1.0	+0.6	30.4
上期	42.5	△44.0	△6.7	△3.0	+61.4	+8.7	△5.7	+1.5	△2.5	△1.0	+1.6	52.8

*「グループ関連事業等」に含まれるもの： 食材関連事業、物流関連事業、連結調整

連結 営業外損益・特別損益

(単位：百万円、%)	2025年2月期 上期実績	2026年2月期 上期実績	前年同期差
営業利益	4,256	5,289	+1,033
営業外収益	671	667	△4
営業外費用	314	719	+404
経常利益	4,613	5,237	+624
特別利益	-	116	+116
特別損失	283	37	△245
税金等調整前中間純利益	4,329	5,316	+986
法人税等合計	1,320	1,153	△166
非支配株主に帰属する中間純利益	201	161	△40
親会社株主に帰属する中間純利益	2,807	4,000	+1,192

営業外損益 前年同期差 △4.0億円

工場閉鎖費用	△2.1億円
固定資産除却損	△1.1億円
その他	△0.8億円

特別損益 前年同期差 +3.6億円

	2025年2月期 上期	2026年2月期 上期
特別利益		
資産除去債務戻入益	－	+1.1億円
特別損失		
減損損失	2.8億円	0.3億円

連結 バランスシート / キャッシュ・フロー

(単位: 億円)	2025年2月末	2025年8月末	増減額
資産合計	1,209	1,289	80
流動資産	328	380	52
固定資産	881	909	28
負債合計	617	688	70
(有利子負債)	342	371	29
流動負債	256	300	44
固定負債	361	387	26
純資産合計	591	601	9
自己資本比率	46.9%	44.7%	△2.1pt

(単位: 百万円)	2026年2月期 上期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	△389
現金及び現金同等物の増減額	352
現金及び現金同等物の期首残高	8,450
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,802

■ 2026年2月期 第2四半期業績

■ 2026年2月期 業績予想

■ 中期戦略に基づく成長への取り組み

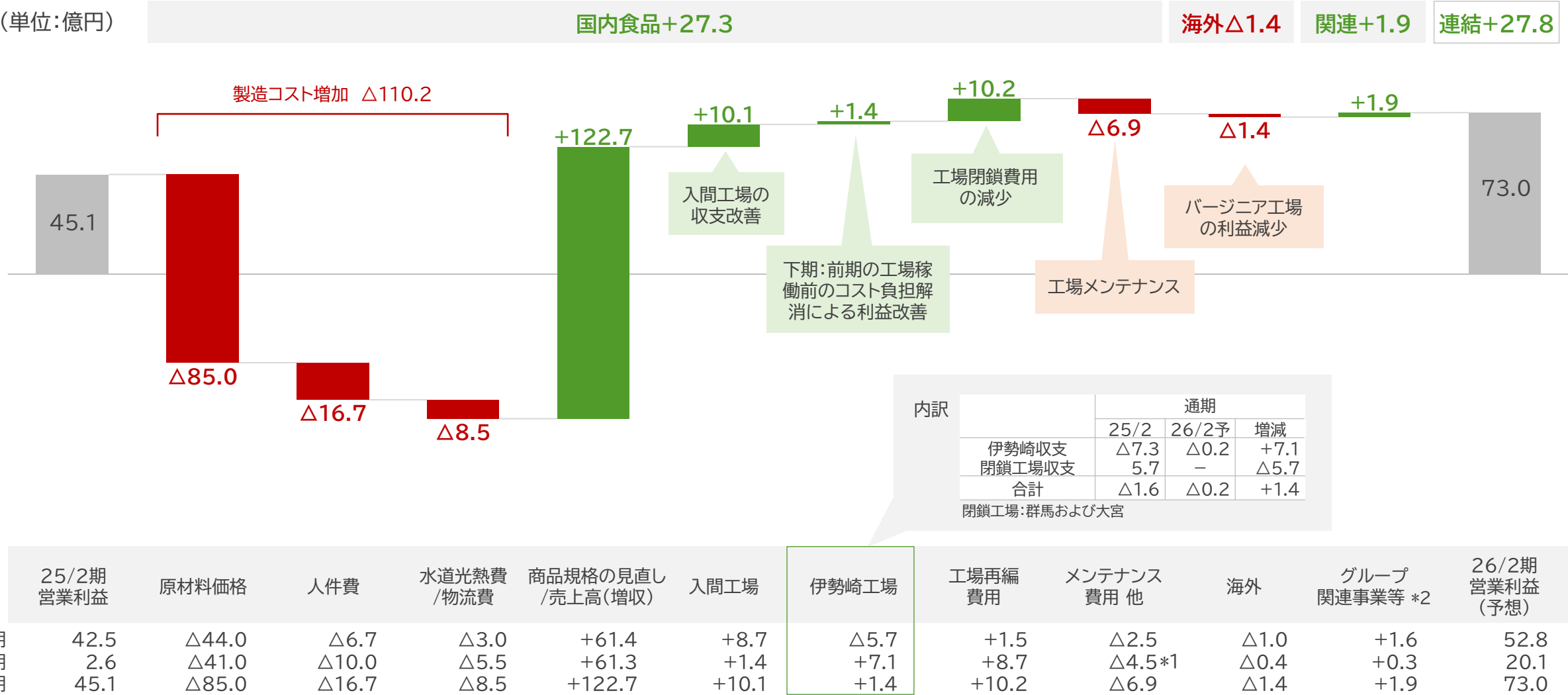
(予想) 連結 業績サマリー

- 業績予想を上方修正
- 売上高・利益ともに過去最高を見込む

(単位: 百万円)	2025年2月期 実績	2026年2月期 期初予想	2026年2月期 修正予想	前期比		期初予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	222,467	231,500	234,500	+12,032	+5.4%	+3,000	+1.3%
営業利益 営業利益率	4,515 2.0%	6,000 2.6%	7,300 3.1%	+2,784	+61.7%	+1,300	+21.7%
経常利益	4,898	5,900	7,200	+2,301	+47.0%	+1,300	+22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,679	3,900	5,450	+2,770	+103.4%	+1,550	+39.7%
EPS	153.41円	223.26円	313.70円	+160.29円	-	+90.44円	-
ROE	4.9%	6.7%	9.3%	+4.4pt	-	+2.6pt	-
USドル為替レート	151.6円	150.0円	150.0円				

為替感応度(USドル/円、1円円安の場合): +18百万円(2026年2月期、年間営業利益に対する影響額の試算)

(予想) 連結 営業利益の増減分解－前期比

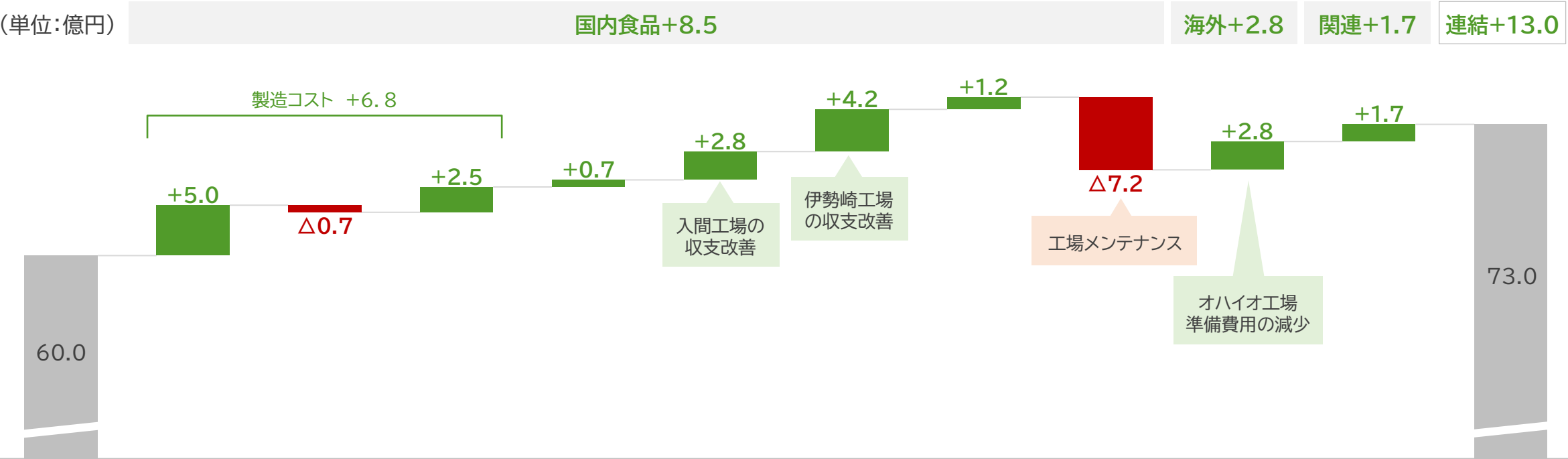


*1 メンテナンス費用 他: 下期影響額の多くが4Qに生じる見込み

*2 「グループ関連事業等」に含まれるもの: 食材関連事業、物流関連事業、連結調整

(予想) 連結 営業利益の増減分解－26/2期 期初予想比

年間で7億円の工場メンテナンス費用の増加を見込む

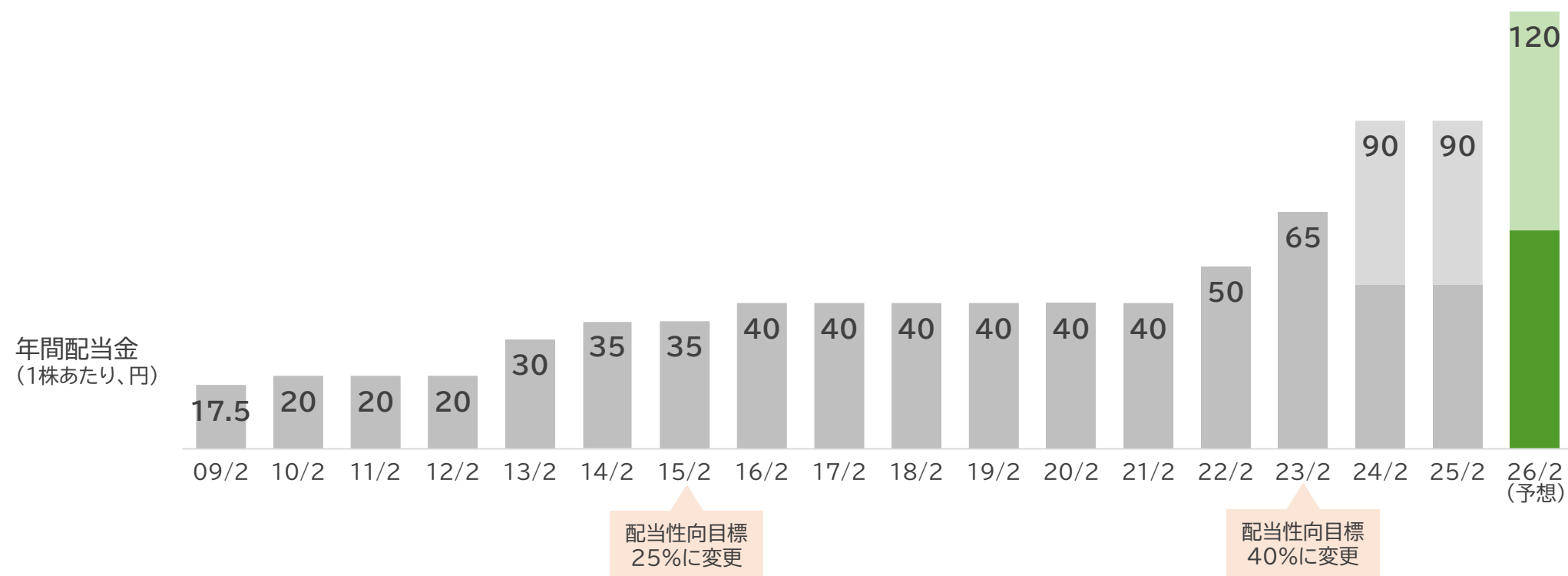


	26/2期 営業利益 (期初予想)	原材料価格	人件費	水道光熱費 /物流費	商品規格の見直し /売上高(増収)	入間工場	伊勢崎工場	工場再編 費用	メンテナンス 費用他	海外	グループ 関連事業等 *	26/2期 営業利益 (修正予想)
上期	-	+3.0	△0.7	+2.5	+0.7	+2.4	+3.6	+1.2	△2.1	+3.5	+0.9	+14.8
下期	-	+2.0	-	-	-	+0.4	+0.6	-	△5.1	△0.7	+0.8	△1.8
通期	-	+5.0	△0.7	+2.5	+0.7	+2.8	+4.2	+1.2	△7.2	+2.8	+1.7	+13.0

*「グループ関連事業等」に含まれるもの： 食材関連事業、物流関連事業、連結調整

株主還元

1株当たり年間配当金 90円 → 120円(30円増配) 配当性向38.3%



配当方針 連結業績や今後の事業拡大投資のための内部留保などを勘案しつつ、連結配当性向 40%をめどに安定的・継続的に配当を実施する。

- 2026年2月期 第2四半期業績
- 2026年2月期 業績予想
- 中期戦略に基づく成長への取り組み

5力年中期経営計画

行動方針： 持続成長可能なビジネスモデルの構築

2028年2月期 中期目標

売上高
2,500億円

営業利益
100億円

ROE
10%以上

国内食品関連事業

利益の
改善

- ・ 工場の再編
- ・ 機械化や効率化による生産性の向上 等

消費者需要
の追求

- ・ 需要変化に対応できる製造環境の構築
- ・ 消費者ニーズを反映した商品開発 等

海外食品関連事業

- ・ 市場の成長が続く米国への注力
- ・ 納品店舗数の増加
- ・ 地域で大きく異なるニーズを汲んだ商品開発 等

グループ関連事業(食材・物流)

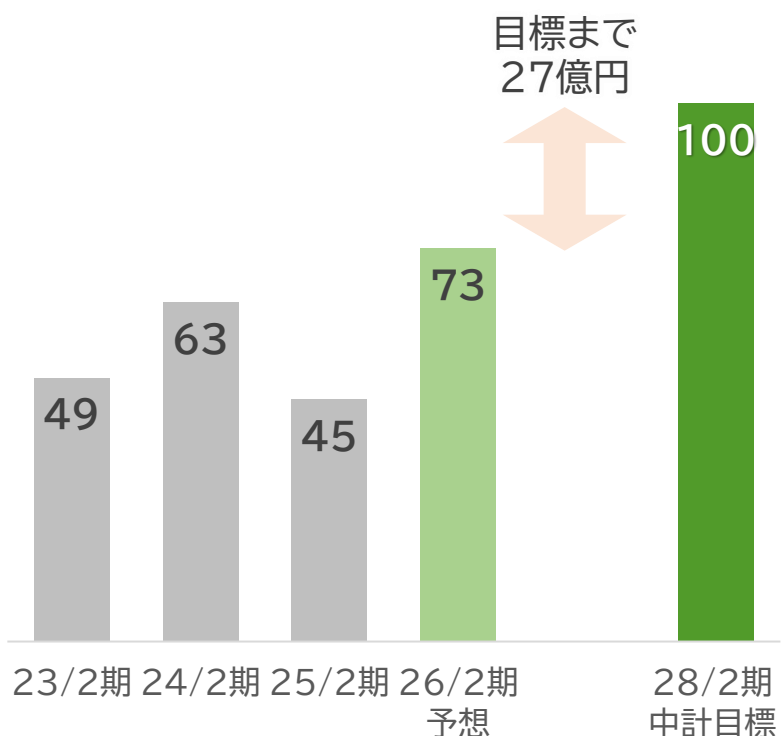
- ・ 消費者需要の変化(チルド商品)に合わせた物流拠点の整備
- ・ 冷凍倉庫事業の立ち上げ
- ・ 加工により付加価値を高めた食材の取引拡大 等

経営基盤の強化

中期経営計画の達成に向けて

中計の達成を盤石にするための重点取り組み

営業利益の推移・目標



取り組み

国内食品

- ・ 伊勢崎工場を核とした最適化
- ・ 商品開発



海外食品

- ・ オハイオ工場の立ち上げ
- ・ 商品開発



グループ 関連事業

- ・ 食材加工の拡大
- ・ 新物流拠点の稼働



国内食品 伊勢崎工場を核とした最適化

4つのチルドラインを活用した少品種大量生産による効率化

伊勢崎工場の現状

- ・ 当社最大のチルド弁当工場(2025年3月稼働)
- ・ 光ヒーター焼成ラインを使い、牛カルビ弁当の製造を開始(2025年6月発売、首都圏 約8,500店舗へ納品)
- ・ 工場収支黒字化 *

今後の取り組み

- ・ チルドラインの稼働率向上(少品種大量生産の加速)
- ・ 製造商品の定番化に伴う省力化
- ・ 首都圏エリア工場との連携強化、製造集約による全体最適

ライン別の製造状況 (製造商品の定番化)

製造商品の定番化: 済



焼き目を付けたカリッとした仕上り



熟成だれの牛カルビ弁当



食材投入から鉄鍋による炒め、鍋洗浄まで自動化



グリルチキン&
ガーリックライス

製造商品の定番化: 未



自動2度揚げで厚みのある揚げ物も外はパリッと中はジューシー



やみつき唐揚げ&
和風ハンバーグ



これまでにない複数食材のトッピングで彩りやバランスのよい栄養を実現



幕の内弁当(イメージ)

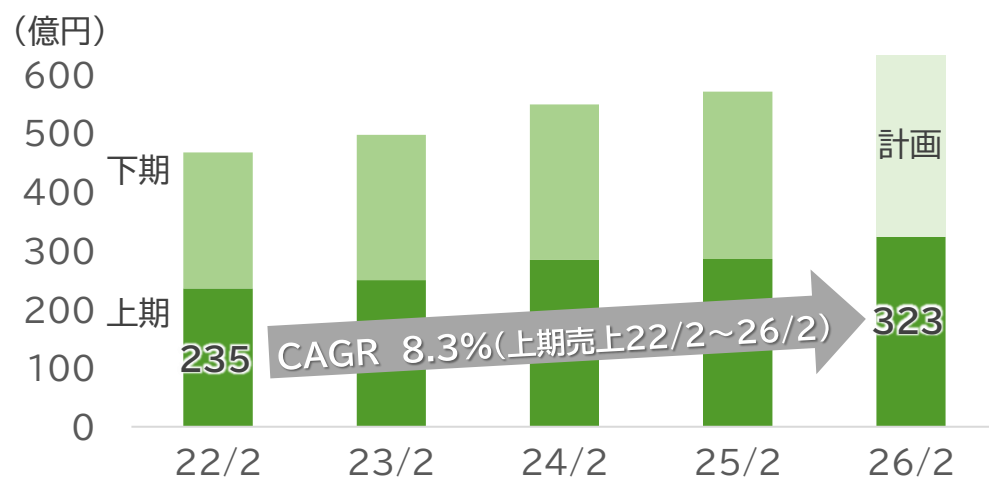
国内食品 商品開発－おにぎり

顧客ニーズを捉えた商品の開発

活況なおにぎり市場

- 外部環境
- ・ おにぎりの世帯支出額は継続的に増加
 - ・ 米価高騰後も続くおにぎり専門店の拡がり

当社のおにぎり売上は力強く成長



売上成長をけん引する商品開発

価格戦略

- 消費の二極化に対応する松竹梅アプローチ
- (松) 高付加価値による新たな価値の創出
 - (竹・梅) 商品完成度の更なる向上
 - ・ 中具の工夫による品位と価格の両立

旨さ相盛おむすび

- ・ 手作り感を演出した新たな商品として話題性もあり販売は好調に推移
- ・ 「旨さ相盛おむすび」の発売以降リリースされた商品はすべて当社が開発

特徴

- ① 一口目から具材を味わえる盛り付け
- ② ボリューム感たっぷりのご飯
(手巻おにぎりの約1.5倍)
- ③ ふっくらご飯と新容器



高菜と明太子(税別288円)

国内食品 商品開発－製造設備

製造設備を踏まえた商品設計による価値の最大化

独自設備による品質の差別化

ブロッコリーチキンエッグ

特定設備

- ・ 高い品質の実現には特定設備が必要な商品設計
- ・ 他社での製造には高いハードル

事業への貢献

- ・ 首都圏の総菜・サラダ部門で常に売上上位
- ・ 2026年春に関西エリアで製造開始予定
(納品店舗数は現在の1.6倍に拡大)

発売日 2025年5月
納品店舗数 約10,000店



製造ノウハウの融合

生パスタ ボロネーゼ

複合調理

- ・ 麺もソースも、すべて自社で完結
- ・ 麺づくりやソース調理の技術と設備を組み合わせた、総合バンダーならではの一貫生産体制

事業への貢献

- ・ 夏季偏重の工場稼働率の平準化による生産性向上

発売日 2025年10月
納品店舗数 約8,400店



カテゴリーの枠を超えた発想

チーズに沼る ふわもちボックス

設備の応用

- ・ 和菓子の製造設備を用いて調理パンを製造
- ・ 和菓子の包餡技術の応用で、とろっと溢れるチーズ充填を実現

事業への貢献

- ・ 高い商品力を武器に広域への納品を見込む

発売日 テスト販売中
納品店舗数 未定



イメージ

製造ラインの拡充

熟成だれの牛カルビ弁当

- ・ 香川工場に増設するチルド弁当製造ラインに光ヒーター焼成機器を導入
- ・ 大好評「熟成だれの牛カルビ弁当」の関西圏への供給を担う
(2025年12月製造開始、納品店舗数 約6,000店 ※段階的に拡大)

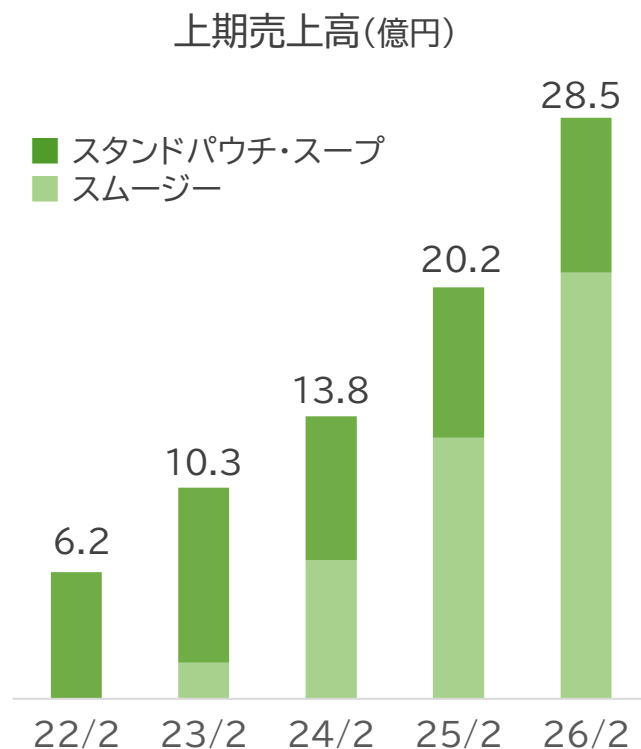


香川工場

国内食品 商品開発－広域商品

2つの柱がけん引する「広域商品」の売上拡大

拡大が続く広域商品



スタンドパウチ

製造：岩手工場

骨付き肉入りのスタンドパウチ「金のバターチキンカレー」が発売(2025年7月)

セブンプレミアムゴールド

当社開発製品として、「金のビーフカレー」に続くセブンプレミアムゴールド商品



ジューシーな手羽元とそのエキスのうまみが効いた本格的なバターチキンカレー

お店で作るスムージー

製造：吉川工場

- ・ 2023年4月以降、全国展開で売上が飛躍的に増加
- ・ 健康志向の高まりを捉えたスムージーは、今後も伸びる成長領域



2025年上期のヒット商品となったアサイーバナナスムージー

国内食品 商品開発－技術の活用

先端技術の活用による新たな食の価値を創造

消費期限の延長

九州産業大学との共同研究

微生物同定技術を活用した、惣菜の消費期限延長

フードロス削減・収益性の向上

- ・「消費期限＋1日」を実現し、フードロス削減と販売機会の拡大へ
- ・生産や物流の効率化によるコスト削減を目指す



研究対象となった
チルド弁当のかつ丼

高栄養原料の活用

奈良女子大学との共同研究

グルテンや増粘剤を使わずに小麦製品と同等の品質を実現

健康ニーズに応える高付加価値化

- ・新商品「玄米和しゅー」として関西エリア(一部)のセブン-イレブンで販売
- ・パンや麺類への技術を横展開、健康志向の市場の開拓を目指す



栄養価が高い玄米粉の
シュー生地を採用した新商品

常温即食米飯

常温即食米飯「金菜銀飯」

常温で4か月保存可能な米飯ブランド「金菜銀飯」を開発

新たな市場の開拓

- ・クラウドファンディングでのテスト販売を実施
- ・品質を磨き上げ、新たな販売チャネルの確立を急ぐ

金
菜
銀
飯



ハンバーグ、豚の角煮、無水カレー
の3品をテスト販売

海外 商品開発－新機軸商品

商品ラインナップの拡充

ハワイ

新機軸商品の導入

- ・パイストリー(ドーナツ)の展開(2024年12月)



カウンター商品への参入

米国では当社初となるカウンター商品としてカレーパンを発売(2025年3月)



北米

ハワイの成功ノウハウを北米へ展開

- ・現地の食文化に合わせた3種類のカレーパン(2025年10月テスト販売)

販売エリア

- ・販売エリアは段階的に拡大予定
- ・冷凍商品の強みを活かした広域での展開が可能



Snack Bombシリーズ



カレー



ソーセージ
エッグチーズ



スラッピー
ジョー

現地になじみのあるトマトベースのひき肉ソースを使用

鮮度保持期間の延長

- ・ガス置換包装技術を活用した鮮度保持期間の延長を検討
→ 納品店舗数の増加
- ・主力のサンドイッチから実施の予定



導入を検討するオハイオ工場(2026年夏稼働予定)

グループ関連 成長戦略

「食材」と「物流」における事業基盤の強化

食材関連事業

持続的成長のための取り組み
アジアにおける調達・加工機能の強化

海外拠点

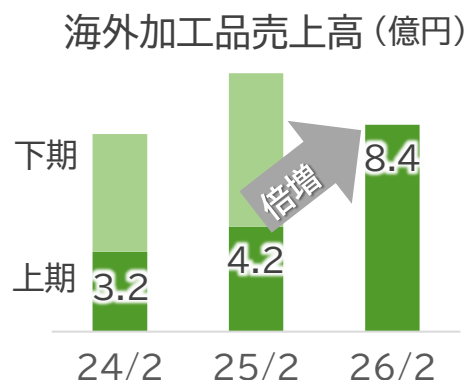
- ・ ベトナム(主に水産・農産加工品)
→ 豊富な食材ラインナップ
- ・ 中国(主に鶏肉加工品)
→ コストパフォーマンスに強み



かき揚げ(ベトナム)



鶏肉加工品(中国)



物流関連事業

持続的成長のための取り組み
3PL事業の拡大

新物流拠点

- ・ 保管・流通加工機能の強化
→ ワンストップサービスの提供で顧客の多様なニーズに応える
- ・ 袖ヶ浦冷凍自動倉庫(2027年春稼働予定)
→ 倉庫関連事業拡大のきっかけとなる拠点



高効率な自動倉庫

- ・ 最大3,000パレット保管可能
- ・ 自動化により省人化と高効率な入出庫を実現

2温度帯に対応

冷凍(-25℃)、チルド(+5℃)対応

環境配慮

自然冷媒の使用や太陽光発電設備の導入

連結業績・セグメント情報等 四半期累計

事業セグメント		(百万円)														
		2023年2月期				2024年2月期				2025年2月期				2026年2月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期差
売上高	食品関連事業	41,383	85,390	128,784	169,552	43,777	90,487	134,868	180,608	48,804	101,247	150,985	198,430	51,638	107,546	+6,298
	食材関連事業	2,613	5,762	8,286	11,394	2,694	5,973	8,523	11,362	2,719	5,997	8,696	11,377	2,720	5,781	△216
	物流関連事業	3,265	6,505	9,769	12,962	3,271	6,507	9,749	12,895	3,196	6,390	9,601	12,658	3,141	6,306	△83
	その他	152	201	331	507	43	43	43	2,143	-	-	-	-	-	-	-
	連結	47,414	97,858	147,171	194,416	49,786	103,011	153,184	207,009	54,720	113,636	169,283	222,467	57,501	119,634	+5,998
営業利益	食品関連事業	1,714	3,389	4,608	5,042	2,300	4,328	5,223	5,929	2,185	4,077	5,107	4,245	2,115	4,950	+872
	食材関連事業	17	36	66	87	52	163	245	323	59	262	421	510	123	289	+26
	物流関連事業	159	353	567	643	216	419	615	704	206	388	561	681	250	542	+154
	その他	△20	△50	△66	△76	△12	△24	△36	173	-	-	-	-	-	-	-
	調整額	△176	△353	△516	△711	△188	△394	△582	△751	△232	△472	△738	△922	△241	△492	△20
連結		1,694	3,376	4,659	4,985	2,369	4,491	5,464	6,380	2,219	4,256	5,351	4,515	2,247	5,289	+1,033

製品別売上高（食品関連事業 国内）		(百万円)														
		2023年2月期				2024年2月期				2025年2月期				2026年2月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期差
米飯		28,054	56,911	85,725	114,118	29,912	61,444	90,968	119,838	28,786	58,028	87,402	115,627	30,160	62,591	+4,562
	常溫弁当	6,748	13,058	19,574	25,595	5,930	11,469	16,483	21,149	4,575	9,248	13,731	18,022	4,345	8,166	△1,082
	チルド弁当	6,818	13,313	20,321	27,283	7,185	15,377	23,409	31,788	7,783	15,144	22,938	30,236	7,742	16,403	+1,258
	おにぎり	11,657	24,943	37,459	49,673	13,765	28,396	42,127	54,848	13,997	28,567	43,148	57,021	15,414	32,341	+3,773
	寿司	2,829	5,595	8,369	11,566	3,030	6,199	8,948	12,052	2,429	5,067	7,583	10,347	2,658	5,679	+612
調理パン		4,072	8,368	12,490	16,263	4,263	8,612	12,606	16,190	3,852	7,819	11,409	14,676	3,626	7,267	△552
惣菜・調理種		3,243	6,695	9,849	12,715	3,092	6,698	10,299	13,662	4,899	11,736	17,420	22,476	5,677	13,360	+1,623
和菓子		2,544	5,510	7,947	10,265	2,369	5,045	7,275	9,478	2,363	4,991	7,147	9,143	2,183	4,499	△492
その他 *		917	1,908	2,990	4,081	1,067	2,267	3,524	4,774	2,144	4,675	6,958	9,144	3,148	5,874	+1,199
合計		38,833	79,393	119,002	157,444	40,704	84,068	124,674	163,945	42,045	87,252	130,339	171,069	44,797	93,593	+6,340
納品店舗数 (店)		18,002	18,034	18,003	18,037	18,035	18,060	18,076	18,121	18,129	18,174	18,176	18,273	18,264	18,296	+135

* 「その他」には、スープ、スタンドパウチ惣菜、スムージー、焼きたてパン等が含まれます。

海外		(百万円)														
		2022年度				2023年度				2024年度				2025年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期差
米国	売上高 円ベース (百万円)	2,560	6,000	9,765	12,063	3,047	6,394	10,169	16,633	6,758	13,995	20,645	27,351	6,841	13,953	△42
	\$ ベース (千 \$)	20,919	43,901	67,434	90,905	23,027	47,420	73,635	118,338	45,477	91,926	136,465	180,444	44,832	93,900	+1,974
	納品店舗数 (店)	817	823	823	827	830	831	2,179	2,163	2,158	2,156	2,273	2,210	2,212	2,193	+37
為替換算レート U.S.\$1 * (円)		122.4	136.7	144.8	132.7	132.3	134.9	138.1	140.6	148.6	152.3	151.3	151.6	152.6	148.6	-

* 海外子会社の為替換算レートは2023年度より期中平均レートに変更しています。（従来は期末レート）

(注) 海外事業の決算：12月末日

連結業績・セグメント情報等 通期

連結業績		(百万円)				
		21年2月期	22年2月期	23年2月期	24年2月期	25年2月期
通期	売上高	194,309	192,326	194,416	207,009	222,467
	営業利益	3,332	4,441	4,985	6,380	4,515
	経常利益	3,710	5,035	4,628	6,824	4,898
	親会社株主に帰属する当期純利益	682	3,264	2,810	4,273	2,679
	資本金	8,049	8,049	8,049	8,049	8,049
	発行済株式数 (株)	17,625,660	17,625,660	17,625,660	17,625,660	17,625,660
	総資産	82,273	82,184	92,684	101,960	120,924
	純資産	44,372	47,901	51,529	54,309	59,124
	有利子負債	11,213	9,315	15,154	21,667	34,247
	インタレスト・カバレッジ・レシオ *	84.9	93.2	63.9	57.8	35.7
	営業活動によるキャッシュ・フロー	8,338	8,106	7,433	9,372	12,478
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,226	△3,963	△7,541	△13,542	△20,670
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,922	△3,546	692	845	8,255
	現金及び現金同等物の増減額	1,043	725	1,518	△3,067	328
	現金及び現金同等物の期末残高	8,946	9,671	11,189	8,122	8,450
	設備投資額	5,623	4,918	9,591	14,691	22,848
	減価償却費	4,812	5,178	4,654	4,970	7,502
	1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	39.04	186.98	160.94	244.71	153.41
	1株当たり純資産額 (円)	2,530.40	2,723.51	2,891.48	3,051.98	3,244.20
	自己資本比率 (%)	53.7	57.9	54.5	52.3	46.9
	自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	1.5	7.1	5.7	8.2	4.9
	総資産経常利益率 (ROA) (%)	4.4	6.1	5.3	7.0	4.4
	1株当たり年間配当金 (円)	40	50	65	90	90
	配当性向 (%)	102.5	26.7	40.4	36.8	58.7
	従業員数 (人)	2,180	1,961	1,875	1,948	2,024
	平均臨時雇用者数 (人)	9,075	7,722	7,670	7,756	7,951

* インタレスト・カバレッジ・レシオ=キャッシュフロー÷利払い
(注) 設備投資額に使用权資産は含まれません。

事業セグメント			(百万円)				
			21年2月期	22年2月期	23年2月期	24年2月期	25年2月期
通期	売上高	食品関連事業	160,417	162,502	169,552	180,608	198,430
		食材関連事業	14,994	13,393	11,394	11,362	11,377
		物流関連事業	13,121	13,260	12,962	12,895	12,658
		その他	5,776	3,170	507	2,143	-
		連結	194,309	192,326	194,416	207,009	222,467
	営業利益	食品関連事業	4,261	4,289	5,042	5,929	4,245
		食材関連事業	△757	271	87	323	510
		物流関連事業	447	615	643	704	681
		その他	△289	△53	△76	173	-
		調整額	△330	△681	△711	△751	△922
		連結	3,332	4,441	4,985	6,380	4,515

製品別売上高 (国内)		(百万円)				
		21年2月期	22年2月期	23年2月期	24年2月期	25年2月期
通期	米飯	112,976	111,472	114,118	119,838	115,627
	弁当	33,532	28,536	25,595	21,149	18,022
	チルド弁当	23,799	25,607	27,283	31,788	30,236
	おにぎり	46,023	46,656	49,673	54,848	57,021
	寿司	9,621	10,672	11,566	12,052	10,347
	調理パン	16,307	16,272	16,263	16,190	14,676
	惣菜・調理麺	13,288	12,684	12,715	13,662	22,476
	和菓子	8,904	9,320	10,265	9,478	9,143
	その他 *	1,969	3,343	4,081	4,774	9,144
	合計	153,447	153,094	157,444	163,945	171,069
	納品店舗数 (店)	17,866	17,998	18,037	18,121	18,273

* 「その他」には、スープ、スタンドパウチ惣菜、スムージー、焼きたてパン等が含まれます。

海外					2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
通期	米国	売上高	円ベース	(百万円)	6,892	9,308	12,063	16,633	27,351
			\$ ベース	(千 \$)	66,591	80,932	90,905	118,338	180,444
		納品店舗数	(店)	779	813	827	2,163	2,210	
		為替換算レート	U.S.\$1 *	(円)	103.5	115.0	132.7	140.6	151.6

* 海外子会社の為替換算レートは2023年度より期中平均レートに変更しています。(従来は期末レート)
(注) 海外事業の決算：12月末日



グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

経営理念

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。

コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、
社会から信頼される企業を目指します。

人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。

本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。

この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。

したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。



わらべや日洋ホールディングス株式会社

わらべや日洋ホールディングス株式会社

経営企画部

E-Mail: keiei-kikaku@warabeya.co.jp

Tel: 03-5363-7194